

新技術活用ミートアップ

ノーベル賞技術を自社の強みに！

空気を操る新素材

PCP/MOFがもたらす産業革新

2026年 3月6日 金

15:00-16:30

会場 アンカー神戸 定員 50名

参加
無料

神戸商工会議所では、地元企業のイノベーション創出の後押しを目的に、新技術や関連サービスを紹介するミートアップイベントを開催しています。

今回のテーマは、昨年ノーベル化学賞を受賞された北川進教授(京都大学特別教授)の研究である、気体の吸着・貯蔵・分離などが可能な「PCP/MOF技術」の最新動向とそのビジネス活用です。

この未来のキーマテリアルを実用化する、京都大学発スタートアップAtomis社の浅利大介社長を招き、素材の概要と今後のビジネスチャンスについて解説していただきます。

対象

兵庫県内の経営層、開発者、新規事業担当者で
こんな課題をお持ちの方、ぜひご参加ください！

- ・脱炭素や環境対応の次なる一手を探している
- ・既存素材や技術に限界を感じており、画期的な新素材を探している
- ・自社技術と新素材を組み合わせ、これまでにない製品を開発したい

内容

1. 講演

- ▶ PCP/MOF(多孔性金属錯体)とは？
- ▶ 実用化に向けて必要な視点・要件
- ▶ PCP/MOFの身近な活用事例 など

2. 交流・ネットワーキング

申し込み方法

右記のWebフォームからお申し込みを
お願いいたします。



スピーカー



株式会社Atomis

代表取締役CEO

浅利 大介 氏

2000年 京都大学工学部 工業化学科卒
2002年 京都大学大学院 工学研究科 分子工学専攻 修士
大学時代は金属錯体の研究に従事し、大学卒業後は、
サノフィ・アベンティス(現サノフィ)の研究員として従事
した後、日東電工(株)に移る。
15年間医薬品・ワクチンの研究開発及び新規事業立上げ
に貢献する。
2017年より現職。

atomis

京都大学・北川進教授の多孔性金属錯体(PCP/MOF)研究成果を事業化する京都大学発スタートアップ。ナノ多孔質材料による気体の吸着・分離・貯蔵技術の中核に、材料の設計・評価・量産や受託研究を展開。さらに次世代ガス容器「CubiTan®」や分散型ガス流通、CO₂回収・資源化など、環境・エネルギー分野での社会実装を進めている。

主催

神戸商工会議所
新事業・イノベーション創出委員会

2025年度兵商連労働環境対策事業

問合せ

神戸商工会議所 産業部
TEL: 078-303-5806
MAIL: sangyo@kobe-cci.or.jp